

平成31年4月16日

公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の  
読み替えを希望する 卒業生 及び 在学生 各位

愛知教育大学 教務課長

### 「卒業証明書・科目履修証明書（学部用）」の発行について

本証明書の発行を希望する場合は、以下の手順にて申請ください。

1. 愛知教育大学ウェブサイトにて公表した次ページ以降の「公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表」をプリントアウトし、成績証明書を参考に御自身の履修した科目全てに蛍光ペンを引く。
2. 愛知教育大学ウェブサイト「卒業・修了生用証明書の発行について」に従って必要書類をそろえ、マーキング済みの読み替え対応表とあわせて教務課へ申請する。  
※ 「証明書発行申請書」の「証明書の種類」の区分は、「上記以外の証明書の場合は、各窓口担当までお問い合わせください。」の欄に、“公認心理師試験 卒業証明書・科目履修証明書”と御記入ください。卒業生の発行手数料は400円です。
3. 教務課で、マーキングされた履修科目と実際の履修単位等を照らし合わせて、証明書を発行。  
※ なお、発行までに2週間程度を要しますので、時間に余裕をもって申請してください。
4. 「公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表」に記載のない科目で、読み替えが可能だと思われる科目がありましたら、教務課に御確認ください。当時のシラバス等から個別に読み替えが可能か判断します。  
※ 新たな読み替え科目の判断には、確認にさらに多くの時間を要することから、時間に余裕をもって申請してください。

注1 マーキングをする読み替え対応表は、必ず次ページ以降の読み替え表を御使用ください。

注2 「卒業証明書・科目履修証明書（学部用）」の発行は、本学が受験資格の有無を判断するものではありません。各自の責任で受験をお申込いただきますようお願いいたします。

参考 「卒業・修了生用証明書の発行について」

<http://www.aichi-edu.ac.jp/contact/certificate.html>

※平成31年4月16日 平成31年度開講の「学習心理学演習」を分類追加します。（教育科学選修・専攻）  
問合せ先：愛知教育大学 教務課教育課程係  
電話（0566-26-2164）FAX（0566-26-2160）

公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表(教育科学選修・専攻)

大学における必要な科目			含まれる事項	本学授業科目	備考
大学における必要な科目名	履修方法				
I	1	心理学概論	3科目以上	① 心理学の成り立ち ② 人の心の基本的な仕組み及び働き	
	2	臨床心理学概論		① 臨床心理学の成り立ち ② 臨床心理学の代表的な理論	臨床心理学講義(※1) 臨床心理学演習(※1) 臨床心理学
	3	心理学研究法		① 心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究) ② データを用いた実証的な思考方法 ③ 研究における倫理	心理学方法論A 心理学方法論B
	4	心理学統計法		① 心理学で用いられる統計手法 ② 統計に関する基礎的な知識	心理教育統計学実習
	5	心理学実験		① 実験の計画立案 ② 統計に関する基礎的な知識	心理学方法論C
II	6	知覚・認知心理学	4科目以上	① 人の感覚・知覚等の機序及びその障害 ② 人の認知・思考等の機序及びその障害	子どもの思考 認知心理学 学習心理学演習(※2)
	7	学習・言語心理学		① 人の行動が変化する過程 ② 言語の習得における機序	学習心理学講義 学習心理学演習(※2) 学習指導の心理学
	8	感情・人格心理学		① 感情に関する理論及び感情喚起の機序 ② 感情が行動に及ぼす影響 ③ 人格の概念及び形成過程 ④ 人格の種類、特性等	
	9	神経・生理心理学		① 脳神経系の構造及び機能 ② 記憶、感情等の生理学的反応の機序 ③ 高次脳機能障害の概要	
	10	社会・集団・家族心理学		① 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 ② 人の態度及び行動 ③ 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	社会心理学講義 社会心理学演習 集団過程演習 対人行動の心理学 個人と集団の心理学
	11	発達心理学		① 認知機能の発達及び感情・社会性の発達 ② 自己と他者の関係の在り方と心理的発達 ③ 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 ④ 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 ⑤ 高齢者の心理	発達心理学講義 発達心理学演習 青年心理学講義 青年心理学演習 子どもの心理 青年の心理学
12	障害者・障害児心理学	① 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 ② 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援			
III	13	心理的アセスメント	2科目以上 (13, 14, 23 及び24)	① 心理的アセスメントの目的及び倫理 ② 心理的アセスメントの観点及び展開 ③ 心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査) ④ 適切な記録及び報告	心理・教育アセスメント講義 心理・教育アセスメント演習
	14	心理学的支援法		① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 ② 訪問による支援や地域支援の意義 ③ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 ④ プライバシーへの配慮 ⑤ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援 ⑥ 心の健康教育	学校カウンセリング 臨床心理学講義(※1) 臨床心理学演習(※1)
	15	健康・医療心理学		① ストレスと心身の疾病との関係 ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援 ④ 災害時等に必要心理に関する支援	

IV	16	福祉心理学	2科目以上	① 福祉現場において生じる問題及びその背景 ② 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 虐待についての基本的知識		
	17	教育・学校心理学	15をVとして履修した場合は、16から19までで2科目以上	① 教育現場において生じる問題及びその背景 ② 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援	教育心理学講義 発達と学習の心理学 生活の指導と相談B 生徒指導の心理学 教育相談の実際	
	18	司法・犯罪心理学		① 犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 ② 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援		
	19	産業・組織心理学		① 職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援 ② 組織における人の行動		
V	20	人体の構造と機能及び疾病	1科目以上	① 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 ② がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病		
	21	精神疾患とその治療	15を履修した場合は20又は21を履修したことと見なす	① 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) ② 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 ③ 医療機関との連携		
	22	関係行政論		① 保健医療分野に関係する制度 ② 福祉分野に関係する制度 ③ 教育分野に関係する制度 ④ 司法・犯罪分野に関係する制度 ⑤ 産業・労働分野に関係する制度		
III	23	心理演習	2科目以上 (13, 14, 23及び24)  24については、時間を問わない	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、かつ、事例検討で取り上げること。 (ア) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援 等 (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ) 多職種連携及び地域連携		
	24	心理実習 (80時間以上)		知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野の施設において見学等による実習を行うこと。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (イ) 多職種連携及び地域連携		

(※1)「臨床心理学講義」及び「臨床心理学演習」は、2と14の双方の分類に対応していますが、修めたこととできるのはいずれか一方の科目に限ります。  
(※2)「学習心理学演習」は、2019年度開講講義のみ6と7の双方の分類に対応していますが、修めたこととできるのはいずれか一方の科目に限ります。

読み替えの証明に関しては、この表をプリントアウトし、成績証明書を参考にご自身の履修した科目全てに蛍光ペンを引いてご提出ください。

公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表(臨床福祉心理コース)

大学における必要な科目			大学における必要な科目名	履修方法	含まれる事項	本学授業科目	備考
I	1	心理学概論	3科目以上		① 心理学の成り立ち ② 人の心の基本的な仕組み及び働き	心理学	
	2	臨床心理学概論			① 臨床心理学の成り立ち ② 臨床心理学の代表的な理論	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ	
	3	心理学研究法			① 心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究) ② データを用いた実証的な思考方法 ③ 研究における倫理	社会調査論	
	4	心理学統計法			① 心理学で用いられる統計手法 ② 統計に関する基礎的な知識	精神保健福祉援助演習Ⅰ (※2013-2014年開講講義のみ対象) 社会調査演習	
	5	心理学実験			① 実験の計画立案 ② 統計に関する基礎的な知識		
II	6	知覚・認知心理学	4科目以上		① 人の感覚・知覚等の機序及びその障害 ② 人の認知・思考等の機序及びその障害		
	7	学習・言語心理学			① 人の行動が変化する過程 ② 言語の習得における機序		
	8	感情・人格心理学			① 感情に関する理論及び感情喚起の機序 ② 感情が行動に及ぼす影響 ③ 人格の概念及び形成過程 ④ 人格の種類、特性等	パーソナリティ論	
	9	神経・生理心理学			① 脳神経系の構造及び機能 ② 記憶、感情等の生理学的反応の機序 ③ 高次脳機能障害の概要	精神医学Ⅰ(※1)	
	10	社会・集団・家族心理学			① 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 ② 人の態度及び行動 ③ 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	コミュニティ援助論	
	11	発達心理学			① 認知機能の発達及び感情・社会性の発達 ② 自己と他者の関係の在り方と心理的発達 ③ 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 ④ 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 ⑤ 高齢者の心理	こころとからだ展開Ⅰ 発達と学習の心理学	
12	障害者・障害児心理学	① 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 ② 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援	精神科リハビリテーション学Ⅱ				
III	13	心理的アセスメント	2科目以上 (13, 14, 23 及び24)		① 心理的アセスメントの目的及び倫理 ② 心理的アセスメントの観点及び展開 ③ 心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査) ④ 適切な記録及び報告	心理療法論Ⅱ	
	14	心理学的支援法			① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 ② 訪問による支援や地域支援の意義 ③ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 ④ プライバシーへの配慮 ⑤ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援	精神保健福祉援助技術総論Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論 心理療法論Ⅰ カウンセリング論 臨床心理演習 (※2016-2017年開講講義のみ対象)	
IV	15	健康・医療心理学	2科目以上		① ストレスと心身の疾病との関係 ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援	精神科リハビリテーション学Ⅰ 心と身体を理解	
	16	福祉心理学			① 福祉現場において生じる問題及びその背景 ② 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援	児童・家庭福祉論	
	17	教育・学校心理学	15をVとして履修した場合は、16から19		① 教育現場において生じる問題及びその背景 ② 教育現場における心理社会的課題及び必要な支	精神保健福祉援助演習Ⅱ	

	18	司法・犯罪心理学	までで2科目以上	① 犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 ② 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援		
	19	産業・組織心理学		① 職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援 ② 組織における人の行動		
V	20	人体の構造と機能及び疾病	1科目以上	① 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 ② がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な	医学概論	
	21	精神疾患とその治療	15を履修した場合は20又は21を履修したと見なす	① 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) ② 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 ③ 医療機関との連携	精神医学Ⅱ 精神医学Ⅰ(※1)	
	22	関係行政論		① 保健医療分野に関係する制度 ② 福祉分野に関係する制度 ③ 教育分野に関係する制度 ④ 司法・犯罪分野に関係する制度 ⑤ 産業・労働分野に関係する制度		
III	23	心理演習	2科目以上(13, 14, 23及び24) 24については、時間を問わない	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、かつ、事例検討で取り上げること。 (ア) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援 等 (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ) 多職種連携及び地域連携	臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅲ 臨床心理学研究Ⅳ	
	24	心理実習(80時間以上)		知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野の施設において見学等による実習を行うこと。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (イ) 多職種連携及び地域連携	精神保健福祉援助実習 臨床心理実習	

(※1)「精神医学Ⅰ」は、9と21の双方の分類に対応していますが、修めたこととできるのはいずれか一方の科目に限ります。

読み替えの証明に関しては、この表をプリントアウトし、成績証明書を参考にご自身の履修した科目全てに蛍光ペンを引いてご提出ください。